

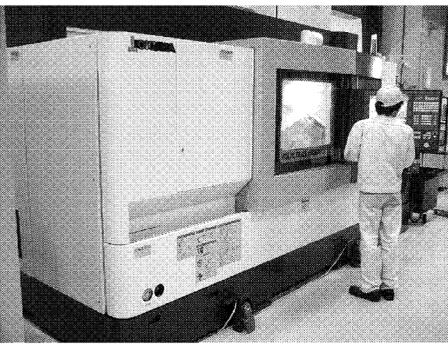
# 新たな可能性を開く

## 中部の工作機械メーカー

### 堅調な受注を継続

### 底堅い新興国全体の需要

中部の工作機械メーカーは、円高定着や欧州金融不安といった課題を抱えながらも堅調な受注を続けている。先行きには不透明感があるものの、新興国全体での需要は底堅く、東日本大震災やタイの洪水からの復旧・復興需要を含め確実な受注獲得が期待される。一方で、一層のコスト削減や納期短縮に向けた国内外拠点でのモノづくり改革、海外部品調達などが急務となっている。



オークマはモノづくり改革で生産効率を50%引き上げる

この実績を踏まえて日工会は12年の受注目標を1兆2000億円に設定した。横山会長は「外需の合計額は11年よりも増える可能性がある。アジア地域の潜在需要をいかに取り込むかが課題」としている。

中部経済産業局が中部の工作機械メーカーに行ったヒアリング調査では「中国の金融引き締めや欧州の経済危機から、足元の海外受注に減速感がある」との回答があった。

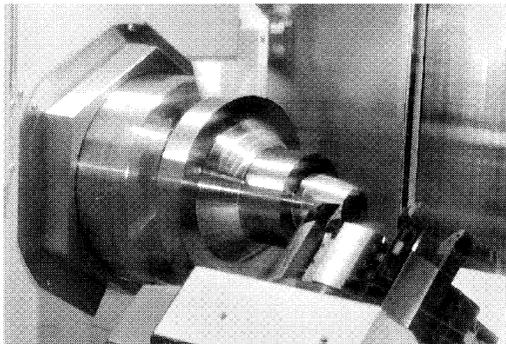
中部の工作機械メーカーのトップの間でも、今年受注見通しは異なる。オークマの花木義徳社長は兆3000億円

0億円を見込んでいる。しかし、先行きの不透明感から数字を堅く見る向きが多いのも確かだ。

また、日本小型工作機械工業会(日小工、長瀬



中国大連市に建設する新工場の起工式(ヤマザキマザック)



各社とも自動化、無人化、複合化に向けた高付加価値型工作機械の開発に力

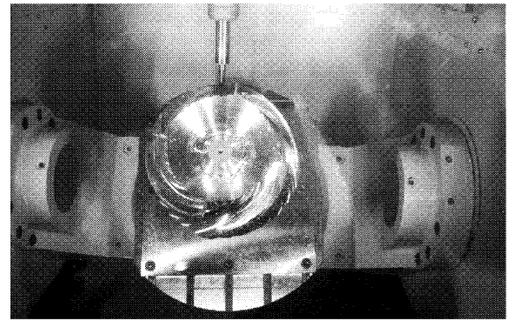
外生産を強化する。中国2番目の工場を大連市に建設し、13年末までに小型のマシンセンター(MC)、旋盤を月間計100台生産する体制を整える。円高定着に対応してユニットも集中生産する計画。延べ床面積は約3万5000平方メートル、総投資額は約50億円。

また同社は国内外で3次元CADの基幹システムに仏タンスーシステムズの最先端CADシステム「キヤティアV6」を約400本導入する。設計から製造までの各種情報を効率管理し、開発期間を短縮する。導入費は10億円超とみられる。

森精機製作所は4月にも中国の工作機械メーカー、瀋陽機床(瀋陽市)

以上、森精機製作所の森幸泰会長(ナカセインテグレーション社長)は12年の受注見通しについて「欧州の財政危機が足を引っ張らなければ、11年引続き約1兆2000億円の受注見通しを維持する」と見込んでいる。現状比50%高め、あくまで国内生産を軸にしたがらも、台湾新工場稼働により、従来月1500台だった台湾での工作機械生産は同3000台に倍増させる考えだ。

ヤマザキマザックも海外から月5000台の铸件を調達する。ドルで購入することで為替変動リスクを抑え、コスト競争力を高める。購入は月5000台から始める計画で、4月以降は全体の約6分の



各社とも自社の生産においてもコスト競争力強化と納期短縮が課題となっている

1を中国製にする考え。森精機は提携する独キルテマイスター(DMG)、瀋陽機床とともに中国に小型MCの生産拠点を設立する交渉を進めている。中国の認可問題もあって決定に時間がかかっており、铸件調達を先行する。

シエネックは納期の圧縮と顧客満足度向上のため、デジタルエンジニアリングを推進する。昨年秋に刈谷工場(愛知県刈谷市)内にプレセッションルームを開業した。設計の見積もりから仕様検討、操作・安全性の検証までの全工程を従来の3分の1に削減するのが目標だ。

富士機械製造は13年から、中国昆山市で工作機

械や電子部品組立機向けの部品やユニットを現地生産する。これに先んじて、取引先である中国の東洋通信技術と合弁会社「昆山の富士機械製造」を設立した。富士機械製造が60%出資する。3年後には20億円の売り上げを見込んでいる。

和井製作所は台湾の友嘉実業グループ(台北)と業務提携する。友好関係にあるシンフンマシナリー(長野県御代田町)、丸紅を合わせた4社で共同出資会社を新設し、台湾製部品を共同調達するほか、将来は工具研削盤の生産でも協業する。

フラー工業は工作機械などの物流を主力工場(刈谷工場)と集約する。機械の完成品や部品を保管する倉庫を新設し、業務効率化して、「CNC(コンピュータ)数値制御タッピングセンター」の増産につなげる考えだ。

こうした中、11月16日には東京・有明の東京ヒックサイトで日本国際工作機械見本市(JIMTOF)が開催される。円高や電力供給問題など企業経営を取り巻く「六重苦」を克服するための新技術・新製品の開発が注目される。

また中部地域は、モノづくり企業の集積地とあって、航空宇宙や次世代自動車、環境・エネルギー、ヘルスケアといった次世代産業の育成が叫ばれており、工作機械各社もこうした分野の需要開拓に余念がない。

LOKUMA

## あなたの工場は、 もっと強くなれる

グローバル化により「品質・コスト・納期」の要求が厳しさを増す中で、工場に欠かせないのが「生産性の向上」です。オークマの知能化技術を搭載した最新鋭のマシンが、より高精度な加工をより速く、より簡単にこなす生産環境を実現し、あなたの工場の競争力を大幅に強化します。

新・かんたん操作で複合加工を操る喜びを  
複合加工機用CNC  
**OSP-P300S**



加工現場で効果を発揮する  
オークマの「知能化技術」

- 加工ナビ**  
最適な加工条件へやさしくナビゲート
- サーモフレンドリーコンセプト**  
「温度変化を受け入れる」独自の考え方。
- アンチクラッシュシステム**  
世界初の「ぶつからない機械」

プレミアムデザインが革新を象徴する知的マシン  
インテリジェント複合加工機  
**MULTUS BII series**



オークマ株式会社

〒480-0193 愛知県丹羽郡大口町下小口5-25-1 TEL 0587-95-7823 FAX 0587-95-4091 営業部  
●支店/北関東 048-720-1411 東京 046-229-1025 名古屋 0587-95-0911 大阪 06-6339-9081  
●営業所/山形 仙台 郡山 日立 新潟 太田 東京 三島 浜松 安城 長野 金沢 京滋 明石 岡山 広島 高松 九州

詳しくはオークマサイトをご覧ください  
<http://www.okuma.co.jp/>